令和３年度 第１回八尾市環境審議会
令和３年11月11日
資料　５

八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）進捗状況

１．計画について

計画期間：2010年度から2050年度

中期目標：2020年度に市域から出る温室効果ガスを1990年度比25%削減

２．二酸化炭素排出量及びエネルギー消費量

①　市域の二酸化炭素排出量と推移

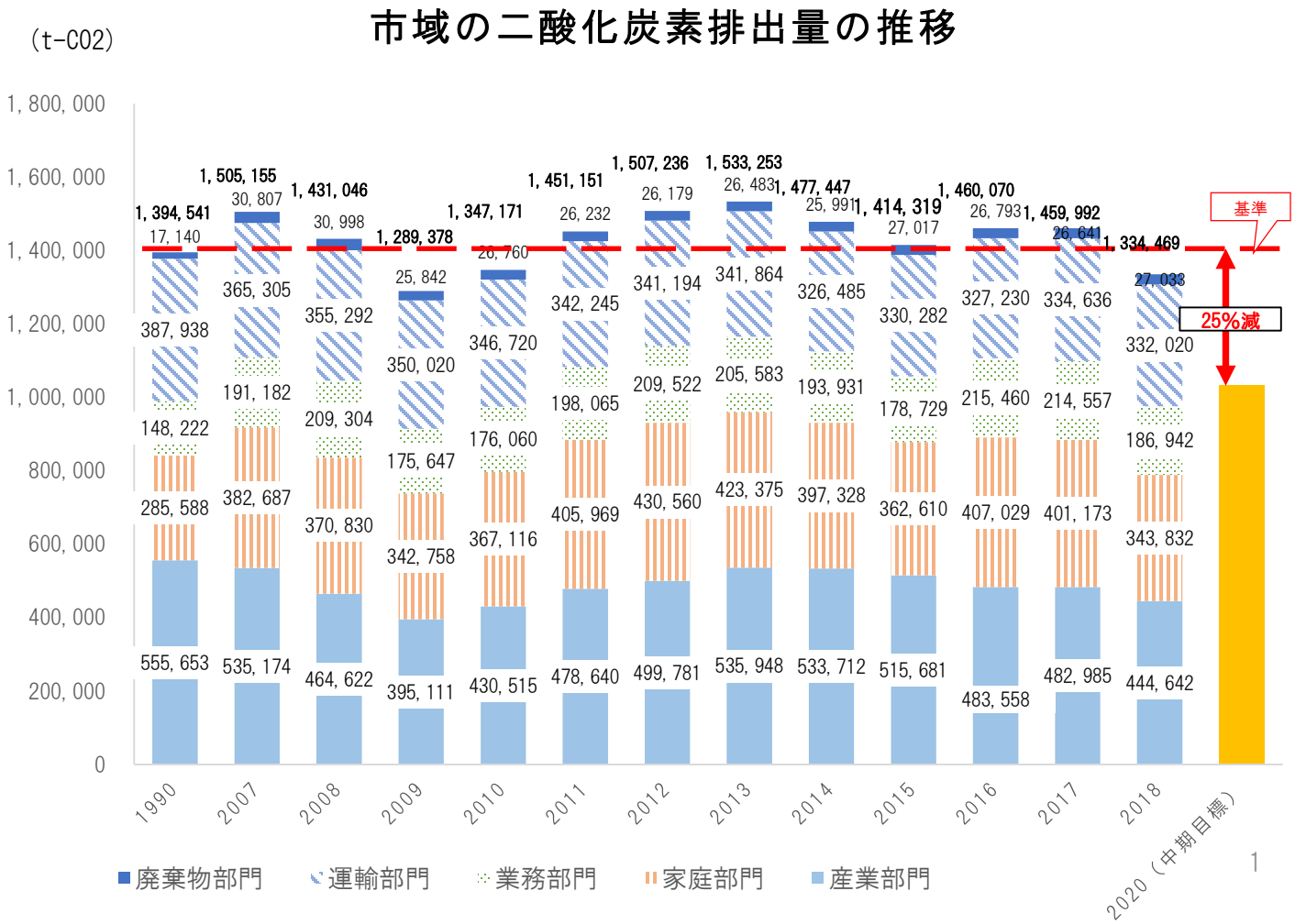
●八尾市域からの二酸化炭素排出量は、直近の確定値である2018年度で**133.4万ｔ**

●基準年度の1990年度比で2018年度をみると**4.3%の減少**となっている

●総排出量は年度によって増減があり、**電気の排出係数増減が要因**となっていると考えられる

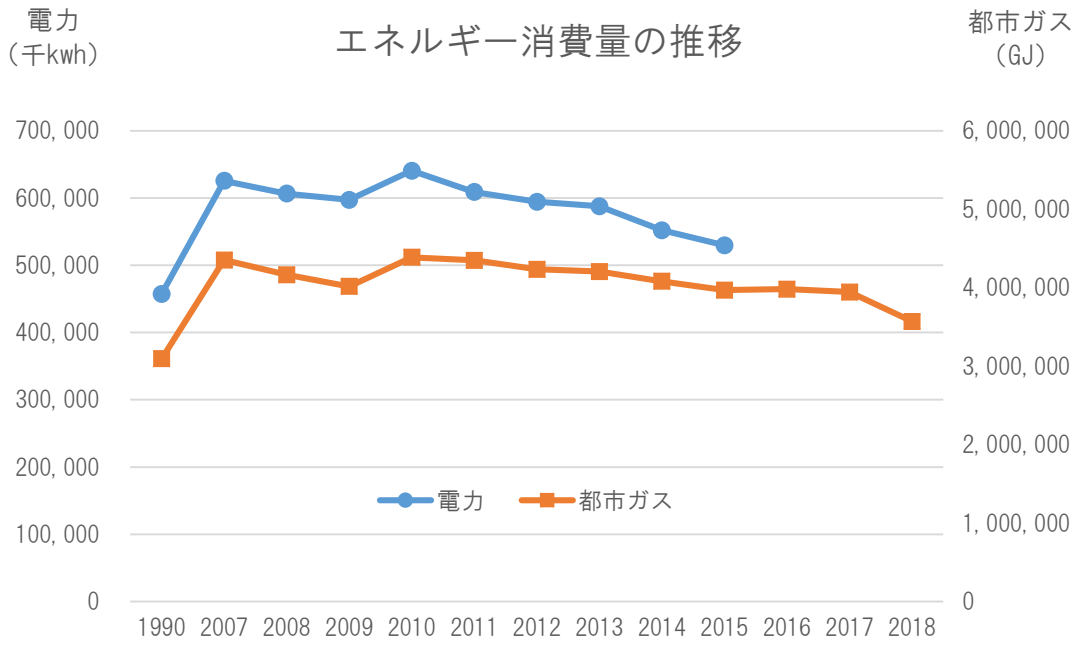
●「産業部門」が割合として一番大きいが、2013年度以降の排出量は減少傾向

●2018年度における「家庭部門」の排出量は1990年度比で20.4%増、「業務部門」の排出量は1990年度比で26.1%増、「廃棄物部門」の排出量は1990年度比で57.7%増となっている



② エネルギー消費量の推移

- 電力消費量は2010年度をピークに2011年度以降減少傾向
- 都市ガスの消費量も2010年度をピークに2011年度から減少傾向



※1　八尾市統計書をもとに作成
※2　電力は電灯消費量の推移（電灯とは一般家庭用など低圧区分の電力契約を指す）
※3　都市ガスは家庭用ガスの需要量の推移
※4　2016年度以降の電力については、電力の小売全面自由化に伴い、市町村別データの公表がなくなったため不明